

教育委員会定例会会議録

開催日時	令和7年12月23日(火) 午前9時00分
開催場所	リパリス1階会議室
出席委員等	委員 金永 俊一 委員 上西 幸子
	委員 横井 きよみ 委員 倉永 慎一
	教育長 恵利 修二
欠席委員	なし
上記以外の出席者	教育課長 谷岡潔、専門監 本田敬、課長補佐 橋本敏博、 社会教育係長 佐々木恒太、 学校教育係長兼給食センター係長 稲田宏美

・教育委員会定例会の開催

1 開会のことば

谷岡課長

・ただいまから令和7年12月木城町教育委員会定例会を開会いたします。

2 教育長あいさつ

恵利教育長

・皆さん改めましておはようございます。

この会では、時の流れの速さって言うてるんですけど、本当に早いもんで残り8日で今年も終わろうとしているところです。いろんな情報で、私のこの種を蒔くにも載せているんですけども、比木と中之又神楽の奉納が行われましたよっていうニュースでございまして、500年以上も伝えられたこの文化、これをですね、見に行かせていただいて味わったところがございます。ちなみにそこに書いておりますけども、ユネスコの無形文化遺産登録の申請がなされて、その候補として神楽が一番で挙げられましたということで、正式に決まったわけではないんですけども、一番で挙げられたということはその可能性が高いということで、知事もマスコミに出られて感激をされて、この神楽に日が当たったことを非常に喜ばしく意見を述べられておりました。私どもとしましても非常にこの2つの流れが違う2つの神楽が木城にあるということは、県の文化財の方も、なかなか珍しいんです県内でもないんですよって言われていました。米良の神楽と高鍋神楽それぞれ違う神楽が存在するまちということで、今後はまた期待できるものだなと思っております。また一昨日ですけど、川南町の総合運動公園で児湯郡の駅伝競走大会が行われまして、9チーム出場しました。木城町はA・Bと2チーム出場したんですけども、Aチームが4位、町村で言えば3位ということで、木城町Bは9位ということで最下位でしたけども、大変力走り皆さん健闘されたところでした。Aチームには区間賞が2名いまして、1区の佐々木結之伸くんと10区の新名照栄くん、前期課程の子供たちですので非常に今後期待できるなと思っております。1月12日には市町村対抗駅伝競走大会が宮崎市の運動公園で、県の運動公園で行われますので楽しみにしているところです。また一方ではですね、昨日は川南町で行われ

まず第23回モーツァルト音楽祭、ピアニストの方が木城には素晴らしいピアノとすばらしいホールがあるということで、子供達限定で5年生以上の子供たちが招かれまして、ピアノの上田克己さんというすごい非常に有名なピアニストの方が素晴らしい演奏を子供たちに聞かせていただき、約1時間でしかけど心が癒される時間をいただいたところです。本日は校内エントランス交流スペースで12時45分からクリスマスミニコンサートが学校の先生とか子供たちの参加で楽しく催されるようでございます。後ほどの総合教育会議に校長先生がチラシを持ってこられるそうです。昨年からはまったミニ行事でとてもいいコンサートをされる予定でございます。案内をしておきます。本日もこの後、総合教育会議もでございますのでどうぞよろしく申し上げます。

3 議長選出

[恵利教育長に議長をお願いしました。]

4 12月期定例会会議録署名委員の指名(恵利教育長・上西委員)

5 議題及び議事

(1) 11月期定例会会議録の承認について(恵利教育長・横井委員)

[事前に送付していた11月期定例会の会議録について承認され、委員において署名]

(2) 事務局報告事項

①教育長報告

・[12月行事報告と合わせて報告]

②行事報告及び行事予定

12月行事報告)

恵利教育長

- ・12月2日(火) 12月議会定例会一般質問打合せ
- ・12月5日(金) 第9回木城町議会定例会「開会」～11日
高城合戦ボランティアガイドプロジェクト会議
- ・12月6日(土) 第16回宮崎県市町村対抗駅伝競走大会木城町選手団 壮行会
九州医療科学大学連携事業報告会
比木神社 神事 夜かぐら
- ・12月7日(日) 木城町民交流グラウンドゴルフ大会
- ・12月13日(土) めばえ保育園クリスマス発表会
中之又神社 例大祭
- ・12月16日(火) 高城合戦ボランティアガイド発起人会
- ・12月17日(水) みどりの会
- ・12月18日(木) 沖縄うるま市勝連小学校教頭ほか木城学園来訪
- ・12月19日(金) 政策調整会議
- ・12月21日(日) 児湯郡駅伝競走大会
- ・12月22日(月) 定例課長会議
モーツァルトコンサート

- ・12月23日(火) 定例教育委員会
総合教育会議
クリスマスコンサート
 - ・12月24日(水) 木城町臨時議会
木城学園終業式
 - ・12月25日(木) 木城っ子冒険プロジェクト(毛呂山町交流)事業 ～27日
 - ・12月26日(金) 令和7年木城町仕事納め式
- 以上で12月の報告を終わります。続きまして、1月行事予定については課長からよろしく申し上げます。

1月行事予定)

谷岡課長

- ・1月1日(木) 元旦 令和8年二十歳のつどい
- ・1月5日(月) 令和8年木城町仕事始め式
令和8年新年賀詞交歓会
- ・1月6日(火) 県庁等「年始挨拶」表敬訪問
- ・1月7日(水) 木城学園 3学期始業式
関係機関「年始挨拶」表敬訪問
- ・1月10日(土) 令和8年木城町消防始式
- ・1月11日(日) 第16回宮崎県市町村対抗駅伝競走大会に係る監督会及び開会式
- ・1月12日(月) 第16回宮崎県市町村対抗駅伝競走大会
- ・1月13日(火) 当初予算町長査定 ～15日
- ・1月16日(金) 神門御神幸祭(師走祭り)
- ・1月18日(日) 第54回木城町新春ジョギング大会
- ・1月20日(火) 第5回宮崎県統合型校務支援システム共同調達・運用協議会総会
- ・1月26日(月) 人事異動に係る経過説明
- ・1月27日(火) 児湯地方教育委員会連絡協議会研修会
- ・1月29日(木) 定例教育委員会(予定)

【参考】

2月行事予定)

- ・2月3日(火) 木城町体育館、総合交流センターリハビリス避難訓練
 - ・2月12日(木) 人事異動に係る事前説明
 - ・2月13日(金) 令和8年度 県教育委員会新規・改善事業等説明会
 - ・2月17日(火) 第3回社会教育委員会議
国スポ 専門委員会 ～18日
 - ・2月18日(水) 木城町教育功労者表彰式及び教育研究助成事業研究報告会
 - ・2月21日(土) 新富・木城国スポ祭り
 - ・2月24日(火) みどりの教室(家庭教育)
 - ・2月26日(木) 第3回生涯学習推進協議会
高城合戦ボランティアガイド初め式 第1回ガイド養成講座
 - ・2月27日(金) 第3回自治公民館長会
- 1月、2月行事予定については以上です。

恵利教育長

・それでは、12月行事報告、1月、2月の行事予定について何かありましたら。

金永委員

・よろしいですか。児湯駅伝大会の前期課程の児童は何年生ですか。

稲田係長

・佐々木さんが6年生で新名さんが5年生です。

金永委員

・一般の人も一緒に走るんですがね。

恵利教育長

・はいそうです。1区が小学生とか、2区が中学生とか指定があって、その中で一般の部もあるんですね。

金永委員

・その児湯の大会と県内全体の駅伝大会は関係ありますか。児湯予選になっているとかそういうことは関係なく、出るメンバーは大体同じメンバーなんですか。

佐々木係長

・監督がまた今回の結果見ながらチーム編成をしたいと思います。

金永委員

・それから、史談会の方は何人ぐらいおられます。

恵利教育長

・今は把握できてません。

金永委員

・一生懸命活動されているんですね。狙いはいいですもんね。ガイドですから木城の宣伝にもなるからですね、いいなと思ってそれを発起するということだから良い志だと思ひまして。予算はつくんですか。

恵利教育長

・ふるさと振興協会がメインでやりますので、あちらが予算をつけて。今のところ登録料として、ボランティアに登録した人は自分で保険とかを払わなくちゃいけない。補助を出すんじゃなくて本当に、自分たちでボランティアをしたいって起こされた方たちですので、それ以上に今のところはっきりしていませんけど、ベストをそろえたり、いろんなものをそろえたりするのはふるさと振興協会が、ボランティア団体の支援をしていくということにはしております。

金永委員

・明日が終業式ですね。ニュースなんか見ると、県内でもそうですけど、インフルエンザが相当流行っているとか出るんですけども木城では学級閉鎖とか学年閉鎖とか、高鍋でも何かあったとか聞いたりしていますがそういうのはなかったですか。

本田専門監

・後期課程7年生の方ではちょっと増えた時期もあったんですけども、閉鎖は行わずに

落ち着いてきた状況ではあります。

金永委員

- ・増えるようなときあったんですね。学級閉鎖とかそこまで至らなかったということですね。よかったですね。学級閉鎖とか学年閉鎖になると、後でそれ取り戻すことが大変ですから、事故もなく明日が迎えられそうですね。それが一番ですね。ありがたいです。

倉永委員

- ・関連して、学級閉鎖の基準は欠席者が何名以上とかあるんでしょうか。

本田専門監

- ・基準は実はないんです。大体 20%30%を超えたら検討を始めるようなことはあります。授業、進学とかいろんなことも考えての判断になりますので、この人数だから必ずとかいうようなことではない状況です。

倉永委員

- ・学校で考え方が違うんでしょうか。

本田専門監

- ・自治体によっても学校によっても判断は違ってくると思います。

倉永委員

- ・人数によると今クラスの人数が少ないから厳しいなと思ったところでした。

恵利教育長

- ・校長裁量で、例えば私も校長をしていたときには、コロナの前だったのでその感染症に対する敏感度っていうのが多少違っていて、少人数になっても学ぶ権利はちゃんと与えなくちゃいけないので来れる子は来させようということで、給食もあるので学ぶ権利ですね、子供たちにそれは認めてあげようということで登校させていた時期もありましたね。あまり学級閉鎖とかはしない。ただしさっき言いましたけども、やっぱりコロナ感染だとかそういうものに非常に敏感になりました。

倉永委員

- ・それともう1点、関連して保健所への報告っていうのは何か規定がありますから、何人以上感染者が出たらとか。

稲田係長

- ・インフルエンザの報告はすると思います。県からの調査が毎年来ますので。

恵利教育長

- ・養護教諭が報告しますね。町の教育委員会を経由してというのはないですね。

倉永委員

- ・保育園の場合は、園全体で10名以上出たら報告をします。それが解消するまで毎日報告をする。今は変わっているかもしれませんが、以前はそういう形でありました。

恵利教育長

- ・学園閉鎖みたいなのは、基準は特にないんですね。やっぱりその状況等鑑みて判断されるんですね。

横井委員

- ・またインフルエンザのことにに関してなんですけど、もし休校とか学年閉鎖になった場合、木城学園ではタブレットを使っていますけど、家庭での授業をされる予定は。ニュースで見たんですけど、高校生がそういうふうにタブレットで勉強ができたっていうかですね。

本田専門監

- ・そういうことは可能だと思います。

恵利教育長

- ・体制は整えているということですね。

金永委員

- ・不登校生徒のタブレットでのやりとり学習ってのはなかったですよ。家にいる不登校生に対する学習をタブレットでやるっていうのはなかったですがね。

本田専門監

- ・家にいる不登校生についてもできるような体制は整えております。

金永委員

- ・対応できるようになるのですね、今は誰もやっている人はいないですよ。

恵利教育長

- ・別室登校して、あおばとルームという支援ルームがありますので、そこから教室の授業を見て参加している子どもはいます。

金永委員

- ・授業が見れるというのはいいですね。タブレットのおかげで全く隔離されるんじゃなくてそれだけでも参加できるというのは。大分進化したですね、学校は閉鎖的だったんですけど。

倉永委員

- ・木城っ子冒険プロジェクトの毛呂山町との交流会なんですけど、次年度は。

佐々木係長

- ・次年度はスキー体験になります。毛呂山町からは毎年夏休みに来られます。

倉永委員

- ・木城だけ隔年でということですね。

金永委員

- ・スキー体験の後にはまた毛呂山に行くということですね。

谷岡課長

- ・今申し上げたように隔年でメニューが違うものですから、前期課程の5・6年生を対象

に応募いただいて、今年、毛呂山に6年生10名、5年生10名が参加いたします。ですから来年は、新しい5・6年生が今度はスキーの体験をするということで、対象年齢をそうやって区別をしてございます。

恵利教育長

・次にその他に参ります。令和7年度第9回木城町議会定例会について課長の説明をお願いします。

谷岡課長

・一番最後のページになりますが、12月定例会はもう終了いたしまして、令和7年度一般会計12月補正ということで教育課関係の補正で認めていただいたものをそこに記しております。まず学校教育関係であります。木城町が海外派遣事業で台湾の建成國民中學というところに、今年で3回目の派遣を行いました。向こうからぜひ日本に来て木城に行きたいというお話がございました。それに伴いまして、その受け入れに係る費用につきまして12月で補正をさせていただいたということであります。来られたときの、お土産代とか、受け入れに伴うペナント交流記念文字入りシャーペンボールペンとか給食代とかですね、木城の給食を食べていただきたいということです。それから学校管理委託料というのは木城町にもございますが、建成國民中學にも校是というのがありまして、木城は立志という校是なんですけれども、親美善離という校是があってですねそれを横断幕にして受け入れをしようというところでの予算であります。続きまして社会教育関係であります。燃料費、光熱水費です62万円、これは総合交流センターに関わる電気代と教育課の公用車の燃料代であります。今年の夏も猛暑続きで電気代が使用量及びその使用料金も上がってるということで、不足の見込みがありますので、その分の62万円を計上したところです。それから委託料につきましては、2月の21日に新富町で行われます新富木城国スポまつりボルダリングに関する費用です。木城の場合はボルダリングをですね、会場は新富町で行うんですけども、移動式ボルダリングの機材を運ぶための運搬委託料ということで3万2000円を計上しております。それから修繕料ですが、体育施設の一般修繕料もいろんな故障が出てきています。直ちに対応するための一般修繕料、それからトレーニングセンターの事務室にあります消防用受信機取替としておりますが、火事等が起こったときに館内で活動されてる方に知らせるような装置があるんですけどもその機材に不具合がありましたので取りかえ費104万円です。最後の委託料につきましては、山塚運動広場に上がっていく道路沿いです。昨年ですね、台風時に倒木で道をふさいでしまいました。道は通れるようになっているんですけども、木の根っこが残っていて道路にまた落ちてきそうな感じでありまして、いろんなところから、撤去をしてくださいよというような要望もありましたので今回、その撤去費用として、35万円を計上させていただいたところです。12月の定例会に提案をさせていただいて、議案としては認めていただいたということになります。説明は以上です。

恵利教育長

・よろしかったでしょうか。何かご質問があれば。

金永委員

・光熱費は例年と比べると大分上がっていますか。こうやって補正予算で申請するっていうことは、額は今までこんなに高いことはなかったのですか。

谷岡課長

・昨年までは補正していません。今年の、調べてみますと6月に結構電気を使っているんですね。ということは6月ぐらいからもう夏日とかそういうのが出てきたと思います。リパリスはクーリングシェルターとしているので、ここに来て涼むところに指定されていて、常にロビーも涼しくしておかないといけないとかですね。そういうのが重なったことと、雨が少なくて日照時間が長くて暑い期間が長かったということで利用料金が上がってきたと思います。この冬が暖かければ62万円まではいらないのかもしれませんが見込みで上げさせてもらっています。

金永委員

・なるほど。必要ですね。暑かったからですね夏がね。暑い期間が長かったですよね。自然現象だからね、人間の力では勝てないところがあるから。

倉永委員

・9年度に国スポがあるということで、体育施設の方に空調が新しくなるとかそういう計画はあるのでしょうか。

谷岡課長

・9年に国スポがあるというのもございます。先ほどの話からも、近年の温暖化というか猛暑日が続くということで、熱中症の危険性も高まっているということで、令和8年に町体育館とトレーニングセンターの2階の柔道室に空調をつけたいという予算を、今度始まります当初予算の中に提案をさせていただきたいと考えています。そこを認めていただけるかどうかわかんないんですけども、国の補助事業がございまして、体育施設の補助があるっていうのと、今後は学校の体育施設についても補助事業が令和15年まで続くというところから、順次、整備をしていこうという計画はございます。

金永委員

・新富・木城国スポまつりは特別にあるんですかね。これは前々から計画あったんですか。

谷岡課長

・急に出てきたものです。県と新富町がまず計画をされた中で、新富はサッカーが盛んなところですのでサッカー競技も国スポで受入れるんですけど、ユニークという種目で、カーリングを床とする競技もエンジョイスポーツで受け入れをするんですね。マイナースポーツで町民に浸透してないそうです。木城町もある意味ボルダリングと

かエアロビックっていうのも、ユニカールに比べればもうちょっとメジャーなのかもしれないけれども、やるなら集客があるようにいろんなマイナー競技をそこに集中させてイベントをやりたいというところでお声がかかったもんですから、今回機材の運搬費用ですけれどもその分を計上させて認めてもらったところであります。

金永委員

・はい、わかりました。お呼びがあって受け入れたということですね。それから大切なのはこの体育施設の受信機関係ですね。きちんと作動するかどうかですね。いろんな事故が作動しなくなって大変なことになったという地区があったみたいですから。きちんと作動するかどうか確認の方をよろしくお願いします。

谷岡課長

・今の質問に関しましては、大きい施設は義務化されていて消防の点検を毎年しています。その中で作動しないとかそういったチェックを入れてもらったり、例えば消火器であったらもう消費期限が来ますよとかそういうのも全部調べてもらっています。その中で、今回はこの作動しなかった故障しているということがわかりましたので補正予算で対応させていただいたということです。

金永委員

・定期点検をされてるわけですね。

恵利教育長

・もう1つご説明があります。規則の改正についてということで本田専門監から説明をお願いいたします。

本田専門監

・長期休業の短縮による授業日の確保に伴う学校管理運営規則の一部改正についてということで、ペーパーをお配りしております。長期休業を少し短くして授業日を確保していく、このことによって日々にゆとりをもたらしていこうということでございますが、提案の趣旨を読みますが、本町では日々の教育活動に時間的なゆとりを生み出し、学びの質の向上を図るため、令和7年度に長期休業を一部短縮し、授業日を確保する取り組みを試行した。ということで、今年は少し短くして授業日を4日間確保したところです。その結果、教育課程編成や児童生徒の生活面において一定の成果が認められたことから、今後も安定的に取り組みを継続するため、学校管理運営規則の一部改正を提案するものです。学校の夏休み冬休みっていうのは、管理運営規則によって決めていますので、ここを修正、訂正することで、この取り組みを継続にしていこうという提案でございます。目的についても申し上げた通りです。次が本年度の試行内容ですけども、管理規則には夏季休業日は7月21日から8月26日と定めてあるのですが、本年度は試行として7月26日からというふうにしました。5日間が取れるのかなというふうに見えるんですけども、祝日等も入りますので、※印のところですが、本年度は4日間授業日を確保することができたところでありました。詳しく見ます

と、学園ではご承知の通り後期課程で通常 50 分の授業を 45 分に短縮し、削減した 5 分の時間を活用してグリーントimeという自ら学ぶ時間を創設しています。休業を短縮して 4 日間の授業日を確保したことで、まずは 1 日の授業終業時間も少し早くなります。部活も早く始められます。また、本来このグリーントimeを短くしてももちろん補充しますので、それは週 3 コマ必要だったんですけども、この 4 日間があることで、週 2 コマ設定で補うことができました。ゆとりをもたすことができたというところでもあります。裏面をご覧ください。生活面における成果として、早く帰りますので家庭での余暇時間が増えます。また、家庭学習の時間や趣味・関心に応じた活動時間として活用できるようになりました。部活動につきましては冬期を含めて、平日において 2 時間の活動を週 3 日確保することができ、年間を通じて活動時間が増加して、競技力の向上や活動意欲の向上に繋がっています。こういう報告を受けて、何らか支障があったのかなということまで情報を得てきたんですけども、これを運営する上では特に保護者、学校現場等からも大きな混乱などについては話が来ておりません。そういうことを踏まえまして、夏季休業日 7 月 21 日から 8 月 26 日となっているものを改正して、7 月 26 日から 8 月 26 日、もちろん祝日等が入ってきますので、丸々 5 日間というわけではないんですけども、これによって生み出される日ができます。あともう一つですね、冬季休業日です。現行 12 月 25 日から 1 月 6 日という設定であります。ただ、聞いてみますと例えば宮崎市は 1 月 5 日まで 6 日がスタート。西都市も 5 日まで 6 日スタート。もちろん、6 日までのところもたくさんあるんですけども、長期休業を短縮して日々にゆとりを持たせるということがわかってきましたので、ここも 1 日短くして、12 月 25 から 1 月 5 日までを冬休み、6 日から始業というふうに改正をしていけたらどうかということをご提案したいと思っております。本改正は、授業日数の確保そのものを設置するものではなく、日々の学校生活にゆとりを生み出し、児童生徒の学びの質と生活の質の双方を高めることを目的としたものです。ということでご提案したいと思っております。ご意見いただければと思いますのでよろしくお願いいたします。

恵利教育長

・説明させていただきました。

上西委員

・今回のこの 1 月 5 日までっていうのは、2026 年からですか。

本田専門監

・次年度ですね。令和 8 年度ですから再来年の 1 月からです。

上西委員

・今回は 1 月 7 日が始業式ですね。わかりました。

恵利教育長

・日々のゆとりを持たせるというところでよろしいでしょうか。

(3) 意見交換

金永委員

- ・それではいいですかね。確認になりますが現在5分短縮になっているんですよね。そのときに以前保護者の方から、昼休み時間がちょっと短いと、給食を食べていろんなトイレ休憩とかですね必要な子がおるかもしれんのでちょっと短いんじゃないかというのがあったんで、その時間はカットはされたんですかね。

本田専門監

- ・実は取り組みをスタートしたときは、昼休み時間45分間を分けてというような形を試行していたんですね。それで昼休み時間が短くなってしまったんですけども、今はもう元に戻ってますから、確保できるようにはしています。

金永委員

- ・以前の昼休み時間と同じ時間が今確保されているということですね。その時間帯に前期の子なんか遊んだりとかよくしていたから、時間が短くなるとちょっと遊ぶ時間もなくなるなとかね、この短縮になって地域の方から漏れ聞くのが、ストレスが溜まってるんじゃないかと聞くことがあるんですよ。だから放課後いろいろ遊んで落ち着いてくると聞いたりするから、若干、遊び不足発散不足というのがないかなという心配もしたとこです。私が見たわけじゃないですが漏れ聞いたところによると、放課後の様子でストレスを抱えている気がする。だから荒っぽさが出るんでしょうかね。体を動かすと落ち着いてくるというのがあるから、その辺も感じる事があれば学校の方でまた対応していただけるとありがたいかなと。

本田専門監

- ・導入当初の話じゃないかなというふうに思われるんですけども、今は元に戻っていますので今日のようなクリスマスコンサートもだからこそ実施できるので、また情報を得ていきたいと思っています。

上西委員

- ・前々から個人的に気になっていたのは、給食時間が20分ぐらいなんですかね。低学年はその20分間で食べ終われているのかなとか、あと4年生は低学年のお手伝いで4年生が1年生を手伝ったりしますけど。前は6年生が1年生を手伝っていたけど今は4年生が1年生を手伝っているんで、すごくバタバタするっていうことを聞いて、4年生が1年生を手伝うときは食べ終わるのも早くして1年生の手伝いに行かないといけないので、すごく大変っていうことは聞いたことあるんです。うちの子もすごく遅いので食べるのが間に合ってるのって聞いたら、牛乳で流し込んでいるとか。パンのときが結構怖いので、しっかり無理しないようには言ってるんですけどこれも焦るので大丈夫かなとか、給食時間をもうちょっと確保できれば食の楽しみというか、せっかくおいしい給食なのでというところもあってですね。

恵利教育長

・皆様のご意見を参考にさせていただきながら確認をしていきたいと思ひます。それではその他ということでは2つほどちょっと説明をしたいと思ひます。女子テニスということで、テニスの子供たちが非常に活躍してしまひて、小学生も久保田彩愛さんが九州大会に出場したり、中学生後期課程は県大会準優勝、熊本でのインドアソフトテニス大会参加とかですね。全日本中学ソフトテニス大会、3月の大会に宮崎県代表で内定しているんですね。非常に活躍をしているところでござひます。そのニュースが1つ裏を見ていただきますと、ISEKI「さなえ全国子ども図画コンクール」に応募された6年生押川愛未さん。全国優秀賞に輝いたということで、たくさんの応募の中で頑張っていることのニュースもお知らせすることができます。もう1つが、第6回全国公民館インターネット活用コンクール。特別賞受賞についてということで佐々木係長から願ひします。

佐々木係長

・公民館活性化支援員の大津支援員が応募しました。公益社団法人全国公民館連合会でインターネットを活用した公民館活動ですが、以前もご説明いたしましたサマーワークショップです。6つの公民館で、木城学園の6年生、8年生が公民館での体験活動を行うサマーワークショップですが、こちらがZOOMを活用して、それぞれ、挨拶だったり内容の把握等を行いました。それが、インターネット活用というところで評価されまして、見事特別賞をいただきました。

金永委員

・頑張っている姿が見られていいですね、地域の住民としては。どうもありがとうございます。

(4) 次回定例会日程 (案)

恵利教育長

・次回定例会の日程について課長の方からよろしく願ひします。

谷岡課長

・次回の定例教育委員会を1月29日木曜日の午前9時からリパリスの小会議室で行いたくご提案申し上げます。委員の皆様のご都合はいかがでしょうか。

恵利教育長

・以上で、今日の日程については終わらせていただきます。

谷岡課長

・以上をもちまして、令和7年12月木城町教育委員会定例会を閉会させていただきます。一同礼ありがとうございました。

次回定例会日程

1月29日(木) 午前9時00分からリパリス会議室

この会議録は、事実と相違ないことを証するため、ここに署名する。

木城町教育委員会

会議録署名委員

教育長

恵利 修二

委員

上西 幸子